

ULT通信

あると

2016. 1. 18号 / vol.60 発行 / ULT 図書館司書

遅くなりましたが、おけましておめでとう
ございます！今年もULTをどうぞよろしく！
新年1回目のULT通信は、「まごの手ULT」
です！！（司書が勝手に命名しましたw）

特集！ かゆいところに手が届く まごの手ULT

学校生活充実！プライベートを楽しく！人それぞれのコアな要望に応える本、あります★

修学旅行、100%楽しみたい！

→ オーストラリアの本、あります★



バレンタイン、手作りしたい！
→ お菓子・ラッピングの本、あります★

モ！テ！た！い！
→ 自分磨きの本、あります★



→ おてきなラッピングアイデア

クラスのスターになりたい！

→ 体育で活躍できそうな本w、あります★



カラオケ王・女王になりたい！
→ ポーカルの本、ダンスの本あります★



（アイドルダンス!!!）

なにかしたいと思ったら、PC・スマホで調べるのと一緒に、
本や図書館も使ってみてください！結構いい仕事しますよ！

ULT NEWS

●毎週月曜は移動図書館！

授業がある月曜の昼休み、第1校舎2階のTルームにて、移動図書館を実施します！
1月26日(月)から開始。誰でも利用OKです◎ ULT 遠い…という生徒はTルームへ！



●Your ULT Style ビブリオバトル！

1月30日(土)、有志生徒によるイベントYour ULT Styleにて、ビブリオバトルを開催！
ビブリオバトルとは、複数のプレイヤーが自分の好きな本を紹介して、紹介を聞いた
みんなが一番読んでみたいと感じた「チャンプ本」を決めるゲーム。おもしろい本や、
本好きの仲間と出会えます◎ 誰でも参加OKです！ 詳細は、ポスターなどで確認しよう♪



●浦学美術大賞展@ULT！

1月30日(土)～2月25日(木)、ULTにて、アートコースの作品展が開催されます。
12月にさいたま市文化センターで展示した作品のうち、投票数が多かったものを
中心に、厳選された作品を観ることができるのでお得感あります(笑)。



新着案内

11・12月の新着は118点です。一部抜粋で紹介します。

↓DVD。東映長編アニメの傑作！

タイトル	著者	出版社	請求記号
西遊記	藪下泰司	東映ビデオ株式会社	778.7-セリ
わんぱく王子の大蛇退治	芹川有吾演出	東映ビデオ株式会社	778.7-セリ

↓小説。ファンタジー・SF好きはぜひ！

タイトル	著者	出版社	請求記号
烏に単は似合わない(文春文庫)	阿部智里	文藝春秋	913.6-アヘ
烏は主を選ばない(文春文庫)	阿部智里	文藝春秋	913.6-アヘ
ぎつねのつき(河出文庫)	北野勇作	河出書房新社	913.6-キタ
かめくん(河出文庫)	北野勇作	河出書房新社	913.6-キタ
パラサイト・イヴ(新潮文庫)	瀬名秀明	新潮社	913.6-セナ
ジェンドオブザワールド(ポプラ文庫)	那須正幹	ポプラ社	913.6-ナス



↓読んでおくとよい本。知識をつける！

タイトル	著者	出版社	請求記号
18歳からの選挙Q&A：政治に新しい風を18歳選挙権	全国民主主義教育研究会	同時代社	314.8-セン
高校生にも読んでほしい安全保障の授業	佐藤正久	ワニブックス	319.8-サト
奨学金借りる?借りない?見極めガイド ここが知りたかった107のQ&A	久米忠史	合同出版	373.4-クメ
ニセ科学を見抜くセンス	左巻健男	新日本出版社	404-サマ

↓本が好きになる本。『世界堂書店』は、『氷菓』の作者・米澤穂信が選んだ世界の短編小説集☆

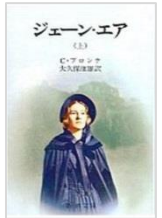
タイトル	著者	出版社	請求記号
NO BOOK NO LIFE 全国の本屋さんが選んだ! 僕たちに幸せをくれた307冊の本	雷鳥社	雷鳥社	019.9-ライ
TOKYO本屋さん紀行	勝山俊光	玄光社	024-カツ
世界堂書店(文春文庫)	米澤穂信	文藝春秋	908.3-ヨネ



第60回は、高橋が担当します。

コラムdeレ

今月のお題は「時間をかけて読む本」です。私は本を読むのが遅いのですが、今回はあえて時間をかけて読んだことで、より一層思い出深い読書体験となった作品をご紹介します。イギリスを代表する作家ブロンテ三姉妹の長女シャーロット・ブロンテが書いた『ジェーン・エア』です。(『ジェイン・エア』とも表記されますが、ULT所蔵の新潮文庫版のタイトルにならって表記します。)ちなみに妹のエミリとアンも作家として名を残しています。



物語は、主人公ジェーン・エアが、厳しい境遇に置かれながらも、自らの手で生きる道を切り開いていく、一人の女性の生き様を描いた物語です。意地悪な叔母との確執…、理解ある友人や先生との出会い…、家庭教師として赴いた屋敷に秘められた謎…、屋敷の主人ロチェスターとの身分を超えた愛…など、上下巻に渡る壮大な物語の中に、ラブストーリーからゴシックホラー的要素まで、文学の面白さが凝縮されています。また、力強く生きていこうとするジェーン・エアの姿には、現代社会を生きる私たちに対しての「たくましくあれ!」という作者の思いが込められているような気がします。

私が大学で受講していた英文学研究という講義で取り上げられていたのが、この作品でした。毎週決められた箇所まで読み、半年間かけて作品の内容と歴史的・文化的背景を読み解いていくという講義です。規模の大きい読書会のようなものでしょうか。学生ひとりひとりによって、感情移入する人物が異なったり、言動に対する解釈が様々だったり、1冊の本、1つの場面だけでも、こんなに様々な読み取り方があるのかと、文学の奥深さを知ったきっかけでした。

皆さんも小論文や作文などを書く際に、言葉選び・文章作りに煮詰まった経験があると思います。作家は常にそのような葛藤と戦っているのではないのでしょうか。それこそ作家が身を削ってつむいだ“ことば”を時間をかけてじっくり味わうこと、これも読書の醍醐味のひとつだと思います。

今年度も残り少なくなってきました。2月、3月と徐々に卒業の季節が近づいてきます。様々な思いを胸に旅立っていく時期ですね。次回のお題は「旅立ち」にします。